

幼なじみと三宮で会った。
たこ焼たちばなで待ち合わせて
中華街の民生で蒸し麺のあんかけ
焼きそばを食べた後、イヤホンを
片方ずつつけて平成ヒッツを流し
「20年ぶりに聴いた!」「いい思
いさせてもらったのに不義理すぎ
る!」と懺悔しながら歌い踊り、
にしむら珈琲に入った。
私たちが育った平成は全然平た
くなかった。4歳の時に阪神・淡
路大震災があり、父の勤務先が被
災して休日返上でタクシードライ
バーをしてくれていたのと同じに
地下鉄サリン事件。8歳の時にノ
ストラダムスの大予言が外れて世
界は続き、11歳で起こった9・11
で世界の終わりのような映像を母
と見た。20歳で3・11があり、ま
た世界の終わりのような報道を見
て30歳手前で平成が終わった後、
緊急事態宣言が発令された。
荒波のような平成だったけれど
カルチャーは反比例して明るかつ
た。右肩上がりの音楽やエンタメ
が私たちを波に乗せてくれた。
全然和やかじゃない令和にお子

随想

言葉の配達

坂口 涼太郎



を育てる幼なじみは幼稚園の審査
を通過し、追加の費用を払わなく
てよくなったと安堵していた。明
日どうなるかわからない中で、綱
渡りのように子育てしていく社会
のままでいいのか。そう思ったと
き、私たちができるのは言葉にす
ること。そのために新聞はある。
荒波を乗り越えるための地図が
朝夕配達される社会がいつまで続
くかわからない。凸凹の平成でテ
レビや文章にかじり付き、元気を
しがんでいた当時の私のような人
のために今、言葉を配達したい。
「また会おうな!」と言って私
たちは別れた。「また」なんてな
いかもしれない。でも、会ってい
るうちにあんながすばらしいこと
も大好きなことも全部伝えた。
私の連載はこれで最後です。出
会ってくれて、ほんまにありがと
う。あなたが少しでも和やかにお
どれることを祈りながら、今日も
私は言葉を配達して、おどる。
涼短歌へ「なんて訪れずとも
和やかにあした」って配達
したい」
(俳優)

左の記事を読んで、次の問いに答えましょう。

1 坂口さんは、「平成」「令和」を、それぞれどんな時代だと表現して
いますか。次の空欄にあてはまる語句を本文中から7字で抜き出し
て書きましょう。

平成…全然 平成

令和…全然 令和

2 坂口さんが新聞のことを比喻をつかって言い換えている部分を
本文中から15字以内で抜き出して答えましょう。

3 坂口さんの最後の短歌のには同じ一語の副詞が入ります。
その副詞を本文から抜き出し、短歌を完成させましょう。

なんて訪れずとも和やかに「あした」って
配達したい

NIEワークシートのこたえ（2026年9月24日公開）

◆ワークシート「言葉の配達＜随想＞（国語）」

2026.8.28付 夕刊 1面 解答

- 1 全然〔平たくなかった〕平成 全然〔和やかじゃない〕令和
- 2 荒波を乗り越こなすための地図
- 3 また

すてっぴあっぴ

★わたしからのひとこと！（記事についての感想や意見を1行で書いてみましょう。）

--

★100字シート (□にチェック)

□記事の要約

□記事に対する感想・意見

[illegible]